静岡市
幼保小架け橋だより
つなぐ
第2号　令和8年10月1日
発行　幼児教育・保育支援課
学校教育課

静岡市では、幼児の在籍する園全てと全市立小学校で、「学校に向けた公開保育」と「園に向けた公開授業」を実施しています。この取り組みは、参観を通して互いの教育・保育について理解することを目的としています。実際の子どもの姿から、幼児教育と小学校教育の共通点や尊重すべき違いについて理解をすることで「何をつなげていくのか」「何がつながっているのか」など、円滑な接続に大切なポイントが見えてきます。 貴重な機会に、どんな保育や授業の参観が相互理解につながるのか、参観者に何を発信してくのかを考えていくことで公開・参観がより充実したものになっていきます。

学びの芽を育む「幼児教育」

幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、全ての子どもに等しく機会を与えて育成していくことが必要とされています。子どもの学びは0歳から始まっており、どの就学前施設を卒園しても、また家庭の中でも同じように育まれることが大切です。そのためには、幼児期に大切なことを保育者・教職員・保護者・地域など子どもに関わる大人が、幼児教育の特性を理解し、その育ちと学びを支えていくことが求められます。

【環境を通して行う教育・保育】

環境の中に教育的価値を含ませながら、幼児が自ら興味や関心をもって環境に取り組み、試行錯誤を経て環境へのふさわしい関わり方を身に付けていくことを意図した教育です

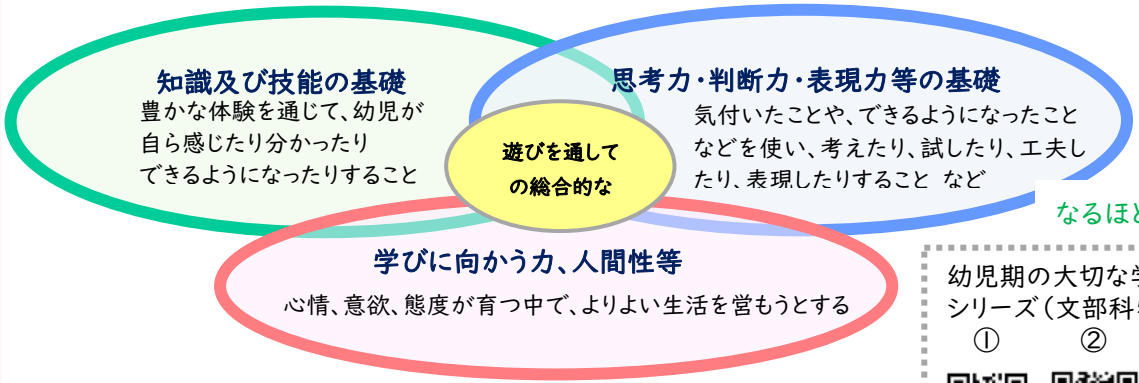
保育者は、幼児が主体的に活動を行い、発達に必要な経験を積んでいくことができるような環境を構成しています（状況をつくり出す）



ただ自由に遊ばせているわけではないんだね。先生たちは、一人一人を理解し、その子の興味が広がったり深まったりして遊びがさらに展開されるよう、必要な遊具や用具、素材などの物的環境や、保育者や友達との関わりなどの人的環境など、教育的に価値のある環境を計画的に構成しているんだよ。 参考：文部科学省「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」

遊びを通して総合的な指導を通して育まれる「資質・能力」

幼児期の子どもたちは、心身全体を働かせて活動するため、心身の様々な側面の発達にとって必要な経験が相互に関連し合い積み重ねられていきます。つまり、資質・能力も個別に取り出して育まれるものではなく、子どもの興味や関心等を踏まえながら展開される活動全体によって、一体的に育まれていくのです。





なるほど・・・

幼児期の大切な学びが分かる動画シリーズ（文部科学省 HP より）

① ② ③ ④

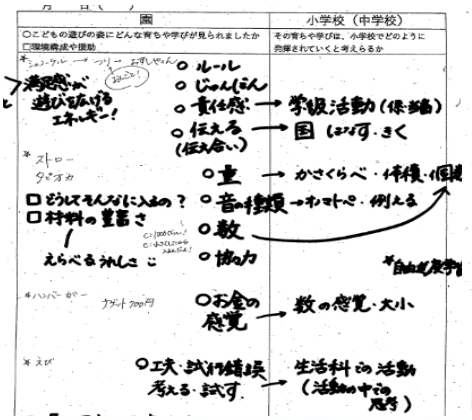
2分～10 分の分かりやすい動画です

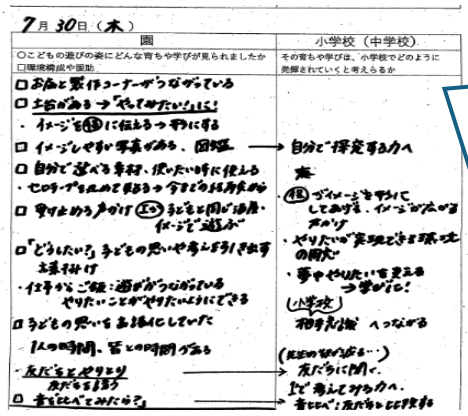
資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿として示されたものが「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）です。

素敵な実践紹介します！「由比中央こども園・由比小学校」



7月 30 日（木）由比中央こども園で園内研修公開日が行われました。公開保育には、近隣の由比小学校・由比中学校の教職員や支部の園からたくさんの職員が参加し、5歳児の公開保育を参観しました。午後の事後研修では、5歳児の具体的な姿から「育まれている資質・能力（10の姿）」「小学校でどのようにその力が発揮されていくのか」「9月から自園・自校で取り組んでみたいこと」などを語り合い学びを深めました。当日は、静岡大学の若林先生から発達心理学の側面から見る「5歳児の育ち」や幼児教育センター職員から「円滑な幼保小接続について」話を聞き共有しました。





遊びの中の学びを捉えるためには、保育参観の視点を明確にすることも必要です。参観シートを工夫したり、参観をしてもらう際に「遊びの中の学び」を説明したりすることが大切です。

互いの教育・保育の専門性を生かした対話ができると、共通点やつながりが見えてきます。

幼児期の教育は、遊びそのものが学びです。教育の目標も「感じる」「気付く」「工夫する」「興味をもつ」などの経験を重視したものになっており、小学校以降の教科学習のように学習内容や到達点が明確に表れません。また、子どもの興味や発達、遊びの展開によって、学びの姿も多様に広がったり深まったりしていきます。遊びの表面的な姿だけでは、その過程で育まれている気付きや思考、試行錯誤などの学びが見えにくいことが、幼児教育の特性でもあります。幼児期の学びを理解するためには、由比中央こども園と由比小学校のように同じ保育を参観し子どもの姿を共有すること、そして何より子ども理解について語り合うことが大切です。





幼保小の円滑な接続のためには、保育者と教職員はもちろん、保護者や地域にも「幼児期の遊びを通した学び」を理解してもらうことが必要だね！幼児教育が前倒し教育ではないことを、保育者・教職員・地域が正しく理解することで、質の高い幼児教育の実施が静岡市でさらに進んでいくはず！

お願い

静岡市の「幼保小接続」の円滑な接続に向けて、幼児教育・保育支援課、学校教育課で各地域の相談や実践の紹介を発信し共有していきたいと考えています。ぜひご連絡ください。

●地域や園・学校で「幼保小接続」の理解を深めたい。研修をしたい。 ●幼保小接続に関する計画がある　など

下記記連絡先または、右の二次元コード等よりご入力ください。 https://logoform.jp/form/79j2/1545030

【連絡先】 幼児教育・保育支援課 221-1018（担当：山下） 学校教育課 354-2519（担当：小杉）